

Keiba Global Front Line

競馬グローバル・フロントライン

競馬の最前線で活躍する馬や人を紹介致します



合田 直弘

5月7日にチャーチルダウンズで行われる、北米3歳3冠初戦のG1ケンタッキーダービー（d10F）まで、あと3か月余りとなつた段階で、戦線に彗星のごとく出現したメッシー工（牡3、エンパイアメラー）が、今月のこのコラムの主役である。

カナダの名門サムソンファームの生産馬で、オンタリオ州で生まれたのがメッシー工だ。母チエッカードパストは、ウッドバインのLRトリリアムS（AW8.5F）を2年連続で制した活躍馬で、メッシー工はその3番仔となる。3代母のキャッチザリングがカナダ3歳牝馬チャンピオンという血統背景を持つ。

1972年に創設され、殿堂入りを果たした3冠馬ダンスマスターを筆頭に、数多くの名馬を生産・所有してきたのがサムソンファームだが、20年10月に競馬事業からの撤退を表明。チエッカードパストも、21年1月にキーンランドを舞台に開催されたサムソンファーム・ディスパーザルセールにて、29万ドルで人手に渡っている。すなわちメッシー工は、半世紀近くにわたつてカナダの馬産を牽引してきたサムソンファームから出現した、最後の大物である可能性が高いのだ。

メッシー工自身は、20年のファシングティプトン・セブテンバー1歳市場に上場され、トムライアン氏のSFLレーシングを

5月7日にチャーチルダウンズで行われる、北米3歳3冠初戦のG1ケンタッキーダービー（d10F）まで、あと3か月余りとなつた段階で、戦線に彗星のごとく出現したメッシー工（牡3、エンパイアメラー）が、今月のこのコラムの主役である。

カナダの名門サムソンファームの生産馬で、オンタリオ州で生まれたのがメッシー工だ。母チエッカードパストは、ウッドバインのLRトリリアムS（AW8.5F）を2年連続で制した活躍馬で、メッシー工はその3番仔となる。3代母のキャッチザリングがカナダ3歳牝馬チャンピオンといいう血統背景を持つ。

1972年に創設され、殿堂入りを果たした3冠馬ダンスマスターを筆頭に、数多くの名馬を生産・所有してきたのがサムソンファームだが、20年10月に競馬事業からの撤退を表明。チエッカードパストも、21年1月にキーンランドを舞台に開催されたサムソンファーム・ディスパーザルセールにて、29万ドルで人手に渡っている。すなわちメッシー工は、半世紀近くにわたつてカナダの馬産を牽引してきたサムソンファームから出現した、最後の大物である可能性が高いのだ。

メッシー工自身は、20年のファシングティプトン・セブテンバー1歳市場に上場され、トムライアン氏のSFLレーシングを

中心としたパートナーシップに、47万ドル（当時のレートで約5039万円）で購入されている。

ちなみにメッシー工とは、カナダ生まれのアイスホッケー選手で、07年に殿堂入りしたマイク・メッシー工に由来している。

カリフォルニアを拠点とする伯楽ボブ・バファートの管理下に入った競走馬のメッシー工は、2歳10月にサンタアニタのメイドン（d6F）を6.1/2馬身差で制し、デビューア戦目で初勝利を挙げると、続いでデルマーのG3ボブホールP（d7F）に駒を進め、ここも3.1/2馬身差で制して重賞初制覇を達成。その後、12月にロスアラミストで行われたG1ロスマラミットスフューチュリティ（d8.5F）に挑んだが、ここでは勝ち馬に1馬身及ばぬ2着に敗れていた。

年が明け、メッシー工にとって3歳シーズンの始動戦となつたのが、2月6日にサンタアニタで行われたG3ロバートルイスS（d8.5F）だった。オッズ1.6倍の1番人気に推されたメッシー工は、1番枠から出て他馬の様子を窺つた後、1コーナーに突入したところで先頭へ。半マイル＝46秒94のラップを刻んで馬群を先導した後、4コーナーからスタートすると、後続との差は一気に広がり、鞍上J・ヴエラスケスが軽く肩ムチを1回振るつただけで、最

後は2着以下に15馬身という大差をつけ、圧勝を演じたのだった。

2着に入ったカボスピリット（牡3）は前走、芝のLRエディーローガンS（芝8F）を制していた馬で、相手関係が弱かつた面は否定できないが、それでも鮮やかな勝ち方で、これを受けラスヴェガスのブックメーカー・ユースレーシングは、ケンタッキーダービーに向けた前売りでメッシー工に13倍のオッズを提示し、2歳チャンピオンのコーニッシュと横並びで1番人気に大抜擢。欧洲のブックメーカー各社も、11～13倍のオッズで1番人気に急浮上させることになった。

ただし、である。メッシー工の馬主には、ケンタッキーダービーに臨むにあたつて、早急に下さなくてはならない決断がある。昨年のケンタッキーダービーで、1着で入線したボブ・バファート厩舎のメディナスピリットから禁止薬物が検出されたことを受け、チャーチルダウンズ競馬場はバファート厩舎所属馬に対し、出走停止処分を課しているのだ。のみならず、ロバートルイスSでメッシー工が獲得したダービーポイント（10点）も、チャーチルダウンズは「無効」と裁定している。

メッシー工の馬主グループがどのような判断を下すか、おおいに注目されている。